



林声

2025

3月号



県内の新しい林業の取組を紹介する「新しい林業・おかやま」。
今回は、株式会社 杉（津山市加茂町桑原）の取組を紹介します。
写真は、令和4年から苗木生産に取り組んでいるコウヨウザンの苗木を植栽しているところです。
※植栽年度：令和5年度／植栽場所：津山市加茂町倉見地内／植栽面積：1.50ヘクタール

(詳細はP2に記載)

目次

新しい林業・おかやま(株杉の取組)	2	技能講習等情報	10
がんばる川中・川下加工事業者 (バイオマスサプライ高梁営業所)	3	林産物市況	11
普及指導区の情報(新見普及指導区)	4	「おかやま森づくり県民税」の成果	13
ナラ枯れ被害とその対策について	5	「林声」500号のあゆみ	14
山火事防止予防運動月間	5		
森林環境譲与税の活用について	6		
森林・林業施設の紹介(県立大学トワトワ)	7		
おかやまの森林・林業を支える 担い手の育成について	8		
研究だより (ヒノキ大径材丸太の品質評価)	9		





三 事業の概要

国有林を中心に県営林、公社造林地等の比較的大規模な施業地において事業を実施されています。

令和5年度の事業実績は、素材生産量が約5,500立方メートル、森林作業道の開設が約8,000メートルとなっております。

一 はじめに

県北部に位置する津山地域は、古くから林業の盛んな地域としてスギ、ヒノキを中心とした造林が行われてきました。

こうした中、津山普及指導区内において、早生樹であるコウヨウザンの苗木生産やドローンを活用した施業地の確認、GNSS測量による施業管理、高性能林業機械を活用した素材生産など、「新しい林業」に取り組んでいる株式会社 杉（津山市加茂町桑原）を紹介させていただきます。

二 会社の概要

平成20年に法人化され、美作地域を中心に素材、チップ生産、森林作業道の作設を行っています。

また、令和4年からはコウヨウザンの苗木生産に取り組み、年間5千本を生産しています。

現在は役員1名、現場作業員5名、事務員1名の計6人で従業員の平均年齢は50歳です。

四 ドローンの活用

8年前からドローンによる施業地の現状把握に取り組んでおり、令和4年には高精度なデータ取得が可能なRTK（リアルタイム・キネマテック）搭載のドローンを導入されています。

ドローンは、主に森林所有者の境界確認や林況把握に活用しております。作業コストの省力化に繋がっています。また、操作方法等にかかる社内研修会を開催するなど、積極的にオペレーターの育成に尽力されています。

※RTK・固定された地上の測位装置である基準局と移動局であるドローンが、同じ人工衛星から信号を受信し、基準局が測位データの誤差を即時に補正することにより、即座に高精度なデータの取得が可能。



ドローンの活用

五 コウヨウザンの苗木生産

成長が早く早期の収穫が期待できる早生樹として、3年前にコウヨウザンの種子を広島県森林組合連合会から取り寄せ、令和4年から本格的に苗木生産を始め、令和5年には市内で1・5畝の植林を行っています。

皆伐から造林までの一貫作業システムによる作業の効率化や、ヘクタールあたり1,500本の低密度植栽を実施し、作業の省力化、低コスト化を実現しています。ま



コウヨウザンコンテナ苗

た、ウサギによる植栽苗木の食害が多い傾向にあるため、生分解性のヘキサチューブを使用して単木保護を実施しています。

植栽1年目にしてチューブ（高さ1・4メートル）以上の苗木もあり、成長の早さに驚かれました。

六 終わりに

代表取締役の内田氏は、今後も公有林での素材・チップ生産や低コスト再造林の事業量の確保を図りたいと考えています。

当普及指導区では、今後の更なる「新しい林業」への躍進に向けて、支援をしていきたいと思っております。

（津山普及指導区 福見 照芳）



一 はじめに

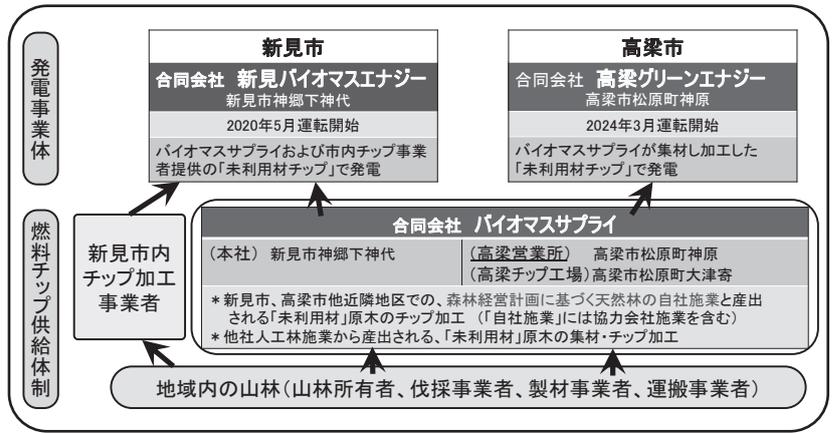
高梁市で令和6年3月に運転を開始した「高梁バイオマス発電所」（高梁市神原）に木材チップを供給している合同会社バイオマスサププライ高梁営業所の取組をご紹介します。

二 会社の概要

合同会社バイオマスサププライ（本社 新見市神郷下神代）は平成28年11月に設立、山林の経営、立木の伐採・搬出、運搬、木材の加工、チップ等の製造、仕入れなどを行っています。

チップは、高梁グリーンパーク（林声7月号記事）内で合同会社高梁グリーンエナジーが運営する高梁バイオマス発電所の発電燃料として年間3万トンを供給しています。

○会社ホームページ



三 事業の概要

高梁営業所 素材生産課では、高梁地域の成熟した森林資源を集约化し、有効利用や適切な森林の保護を進めていくため、森林経営計画を作成し、計画的な森林の手入れを進めています。当営業所では、現在6名の職員が従事されています。

森林所有者への働きかけは、こ

れまでのところ、知人・友人などの関係者を頼りに行っており、高梁市の隣接地域も含め、持続的な森林の経営の確保を進めています。業務に従事している職員さんに内容を伺うと

「高梁地域は、新見地域と比べ所有森林が小規模であり、最低でも一団地2〜3畝以上になるよう、隣接森林も含め集約する必要があるため苦労している。不在村森林所有者に営業の電話をしても出してもらえないことが多いです。施業提案しようとしても、森林への関心もなく、所在現場がわからない、手放したいとの相談も受けたりもします。一方で森林に手を入れることを喜んでくれる方もおり、評価も得られています。今後も現在の事業を着実に進めていきたいと思っています。」とのことでした。

施業は、直営班（新見・高梁エリア共通）と各地域の協力林業事業体との2体制で実施しています。施業状況を見た隣接森林所有者から施業の相談等を受けることもあるそうです。

伐採木は、次のとおり部位ごとにチップ化等の処理を行っています。

①梢端部（枝葉を付けたままの樹

木の最頂部）は山土場でチップ化し発電所に直接搬出
②根元部（タンコロ）は一旦乾燥させた後、チップ化させたものを発電所に搬送

③幹は原木市場に出荷するものを除き、高梁バイオマス発電所近くの高梁チップ工場で集積、チップ状に破碎し蓄積、発電所へ定期的に運搬供給しています。



高梁チップ工場

四 終わりに

今後も積極的に地域資源を活用した里山地域の森林づくりが、地域活動の大きな魅力の一つとなっていくように引き続き支援をしていきたいと思えます。

（高梁普及指導区 本田 尊大）

普及指導区の情報

森林教育への取り組み

【新見普及指導区】

新見市は86%が森林で占められ、民有林の人工林面積は県下で2番目です。新見普及指導区では林業サイクルの循環により、この貴重な森林資源を後世に引き継ぐため、源流の森が豊かな海を育む森づくり活動や企業の社会貢献活動を通じて、参加者に森林の恩恵や林業サイクルの必要性について説明を行っています。



普及指導員が安全な下刈りについて説明

一 森と海をつなぐ植樹のつどいは、森と海をつなぐ植樹のつどいは、

平成27年9月に岡山県漁業士会が新見市と森づくり活動に関する覚書を締結してから、新見市の大佐山の市有林で毎年開催されています。



平成31年



令和6年

本年度は7月9日、下刈り方法や近接作業への注意、マダニ対策などについて林業普及指導員が説明を行い、漁業関係者63名の参加を得て開催されました。写真で比較すると、植樹した箇所が成林してきています。

二 JTの森鯉が窪にいみ

平成28年に社会貢献活動の一環として、新見市哲西の鯉ヶ窪周辺の市有林約51畝をJTと新見市が森林保全協定を締結し、本年度まで継続して開催されています。



普及指導員が安全な下刈りについて説明

令和6年9月21日当日は、同社員と家族、地元企業から約60名が参加され、林業普及指導員の安全作業の説明の後、林業関係者約30名もボランティアで参加し、昨年

植栽された少花粉スギの箇所の下刈りを行いました。



JT社員と家族 地元企業が参加



木工体験

当日は、木工体験と木材市場見学も行い、木が植栽されてから利用できるまでが体験できるイベントとなりました。

(新見普及指導区 渡邊 康太郎)

ナラ枯れ被害とその対策について

一 ナラ枯れ被害の状況

岡山県では、平成21年度に初めてナラ枯れ被害が確認されて以降、県北部を中心に被害が発生していましたが、近年は県南部地域にも拡大し、現在の被害区域はほぼ県内全域となっております。令和6年10月時点の被害量は、約21千立方メートルであり、過去最大であった令和2年度と比べると約7割に減少しているものの、全国的にみても非常に高い水準にあります。



■：被害が確認された市町村 (R6.10時点)

二 ナラ枯れ対策

県では、令和2年度に定めた岡山県ナラ枯れ被害対策基本方針に基づき、市町村等関係機関と連携した総合的な被害対策を推進しています。具体的には、おかやま森

づくり県民税を活用したナラ枯れ被害拡大防止総合対策事業等により、被害把握、予防対策、駆除対策、関係機関との情報共有等を総合的に実施しています。

被害把握

被害木のヘリコプターによる航空探査、地上からの探査等

予防対策

薬剤の樹幹注入、カシノナガキクイムシ（病原菌の媒介昆虫）の生息密度を低減する誘引捕殺等

駆除対策

被害木の伐倒整理や薬剤処理等

関係機関との情報共有

地域連絡協議会、近隣県との会議

三 終わりに

被害が県内の全域に拡大しており、全量駆除が難しい中、限りある予算を効果的に活用していくためには、各地域において、倒木等により住民や施設に被害が及ぶ箇所、観光面で重要な景勝地など保全対象を検討・選択し、対策を講じることが重要です。

今後も市町村と協力しながら、地域の実情に応じた効果的な対策を推進してまいります。

(治山課 造林班)

3月は山火事予防運動月間です

岡山県では、「晴れの国」の穏やかな気候の下でさまざまな姿の森林が育ち、私たちの生活に多大な恩恵をもたらしています。

しかし、ひとたび山火事が発生すると、この貴重な森林が広く失われるだけでなく、皆様の生命や財産も脅かされます。

過去10年間（平成26年～令和5年）において、岡山県では年平均60件の山火事が発生しており、都道府県の中で2番目の多さとなっています。また、令和5年3月には岡山市と美作市で、そしてこの1月にも笠岡市で約10鈔を超える森林が山火事により焼損しています。

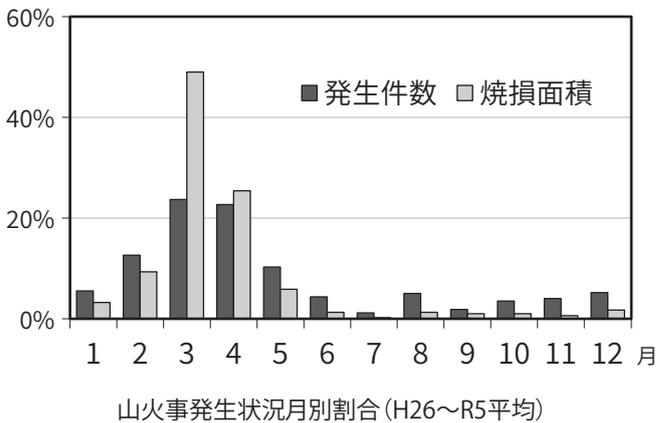
春先は空気が乾燥し、風の強い日も多くなることから、下図のとおり、山火事が非常に発生しやすい季節となります。また、山火事の発生は、たき火や枯れ草焼きからの延焼といった人の不注意による原因が大半を占めています。

このため県では、3月を「山火事予防運動月間」と定め、「ふるさとの 山を守ろう 火の手か



ら」を統一標語に、市町村や消防機関と連携して、重点的に山火事の予防意識の啓発に取り組んでいきます。

岡山県の豊かな森林を次の世代へ引き継ぐためにも、火の取り扱いには十分な注意を払っていただき、山火事予防へのご理解とご協力をお願いします。



(治山課 保全班)

森林環境譲与税の活用について



森林は、水源の涵養^{かんよう}や土砂崩れの防止、木材の生産、さらには地球温暖化防止など、私たちの生活に広く恩恵をもたらしています。

適切に管理されることで、私たちの生命や生活を守ってくれる森林ですが、木材価格の長期低迷や所有者や境界が分からない森林の増加等により、管理されない森林が増加し、問題となっています。

そこで、市町村では、管理されていない森林を解消するため、森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度に取り組んでいます。

この制度は、手入れの行き届いていない森林について、市町村が森林所有者から経営管理の委託を受け、林業経営に適した森林は地域の林業経営者に再委託するとともに、林業経営に適さない森林は市町村が公的に管理をする制度です。

県では、市町村による森林整備が円滑に進むよう、森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度を実施する市町村や林業経営体への支援を総合的に実施しています。

(林政課 普及指導班)

県による森林環境譲与税を活用した市町村支援(令和5年度)

市町村職員等への研修・意欲と能力のある林業経営体の育成

1 県と市町村との連携推進会議・市町村職員等研修

【事業内容】

市町村による森林経営管理制度の円滑な推進のため、課題解決に向けた検討や情報交換等を行う連携推進会議を開催した。また、市町村職員及び地域林政アドバイザーを対象に、森林・林業に関する専門研修を実施した。

【実績】

- ・連携推進会議の開催(4回、延べ179名参加)
- ・市町村職員等研修の実施(4回、延べ37名受講)
- ・司法書士等による個別相談業務(2回)
- ・岡山県森林経営管理制度ポータルサイトの運営

2 意欲と能力のある経営体育成事業

【事業内容】

林業経営体代表者等に経営に係る意識改革、職員の資質向上等に係る研修を実施した。また、市町村職員や林業就業者等を対象とした林業技術研修施設の整備を行った。

【実績】

- ・林業経営体代表者等研修の実施(9回、延べ72名受講)
- ・林業事業体提案型研修への支援(3事業体、延べ58名)
- ・林業経営体へのスマート林業技術等導入支援(6事業体)
- ・研修機材の配備等



連携推進会議

森林クラウドを活用した新たな森林管理システム支援事業等

1 森林クラウドを活用した新たな森林管理システム支援事業

【事業内容】

航空レーザ解析データや人工衛星画像等を活用し、森林クラウドに搭載した森林情報の精度向上を図り、情報ネットワークを介して市町村と共有した。

【実績】

- ・地籍(地番界)及び航空レーザ解析データの林況を基準とした森林簿・森林計画図の整備
- ・人工衛星画像を活用した、伐採や植栽等の森林変化情報の把握及び森林簿等の更新

2 航空レーザ計測成果による森林資源解析事業

【事業内容】

森林資源解析ができていない市町村の区域を対象に、航空レーザ計測成果を活用して森林資源解析を実施し、森林クラウドを介して解析データを市町村と共有した。

【実績】

- ・航空レーザ計測データを活用して森林資源解析を実施し、森林資源及び地形情報のデジタルデータを整備
- ・整備した解析データを森林クラウドへ登録し、精度の高い森林情報を提供

(公社)おかやまの森整備公社による市町村支援体制整備事業

【事業内容】

公益社団法人おかやまの森整備公社内に森林管理支援班を設置し、専門的人材の紹介(林業技術者等の人材バンク)や林業技術者等へのアドバイス・相談対応、森林管理の技術支援等を実施した。

【実績】

- ・実務研修の実施(7回、延べ79名受講)
- ・市町村等の相談対応、技術支援、訪問等:全市町村(随時)
- ・市町村からの森林調査受託(7件)
- ・針広混交林等施業実証試験の実施(新設2箇所、既設15箇所)
- ・広葉樹生育調査及び林内環境調査(19箇所)
- ・針広混交林等誘導技術提案書の充実



実務研修



岡山県立大学（総社市窪木）が開学30周年の記念行事として令和5年度に学生食堂を多目的空間にリニューアルオープンしたので紹介します。

「学生、教職員、地域の方が集う賑わいの空間」をコンセプトに食事のみならず、学習やミーティングにも活用することができます。

施設デザインの提案は学内コンペで募集し、デザイン学部の学生が設計したものを基に施工されています。

柱・柵・フロアリングなどの木部には、デザイン学部建築学科監修により、岡山県産ヒノキが使用され、地域のお店が定期的にパンやお菓子などの販売を行うことができるスペースも新しく設けられるなど、明るく開放感のある空間となっています。また、今回案内していたいただいた職員の方からも、「以前の無機質で暗いイメージがなくなり、学生が集まりやすくなった。木の温かみ・香りなどが体感でき、とても良い」との感想を

頂きました。取材中も、多くの学生が集い、終始楽しそうな姿が印象的でした。



多目的空間 施設の様子

（倉敷普及指導区 渡邊 誠）

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！



加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
 加入期間は？ 1年単位で何年でも！
 保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約3千9百万円の保険料が支払われました。

ご契約のモデルケース（1haあたり）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
 保険期間…5年 保険金額…最大188万円
 一括払いだと 25,324円（5年間計）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
 保険期間…5年 保険金額…最大299万円
 一括払いだと 42,129円（5年間計）

1ヶ月あたり
約420円

おむすび
3個分

1ヶ月あたり
約700円

ラーメン
1杯分

- 保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。
- 条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。



森林保険公式キャラクター そよりん たもちい



おかやまの森林・林業を支える
担い手の育成について

令和6年度に農林水産総合センター普及連携部普及推進課で開催した研修について紹介します。

一 林業機械体験研修

林業関係学科等のある高校生を対象に、ハーベスタやグラップル付きバケット（ザウルスロボ）など高性能林業機械の操作を体験する、林業インターンシップ研修を開催しました。

研修では、林業の魅力を感じてもらおうと、将来の担い手として、一人でも多くの林業就業者が誕生することを期待しています。



フォワーダの操作説明を受ける高校生

二 森林作業道作設研修

岡山県の地形、地質及び作業システムに適した森林作業道を作設できるオペレーターを養成するため、基礎研修、応用研修、新規指導者育成研修を開催しました。

基礎研修では、路網計画のルート選定や測量、基本となる切土・盛土の施工技術を学ぶ研修、応用研修では、土場の設計・施工に加え、CLTパネルを利用した仮設木橋を設置しました。



土場の設計・測量の様子

新規指導者育成研修では、新人職員に対して、指導できる人材の育成を行い、これらの技術を学ぶ

ことで丈夫で繰り返し使用できる森林作業道づくりに取り組む事業を増やすことを目指しています。



仮設木橋の設置（CLTによる土木利用）

三 伐採技術向上研修

林業における労働人口に対する災害の頻度は、全産業の10倍と高い状況であり、そのうち、死亡災害の7割が伐木作業中によるものです。このため、安全な伐木作業を行うことができる技能者の育成が急務となっています。

伐木技能者が職場内外の現場において「技術を伝えるノウハウ」を身に付けてもらうことを目的に開催しています。

研修では、前期・中期・後期（各2日間）に分けて、研修生自身のチェーンソー技術の研鑽と、

新人職員が安全に伐倒できるよう技術を伝える指導方法を学ぶ研修を行っています。

研修を通じて、労働災害の撲滅と就業者の定着に繋がることを期待しています。



新人役（県職員）に対し指導を行う研修生

四 おわりに

令和7年度においても、担い手の確保、育成、定着を図るための研修や、森林経営管理制度の主体となる市町村職員への支援を行う研修を予定しています。引き続き研修への参加・協力をお願いするとともに、林業普及推進班としても、担い手の確保・育成等を目的に、新しい技術を取り入れた研修を開催して参りたいと考えています。

（普及推進課 林業普及推進班）

研究
だより

ヒノキ大径材丸太の品質評価



一 はじめに

岡山県の主要造林木であるヒノキは、現在9齢級以上が8割を占めており、高齢級化が進んでいます。それに伴い、大径材丸太（末口直径30ミリの以上）の供給量増加が今後予想されますが、大径材は、小径材と比較して、幅広の板材、芯取り構造材（髓を含まない材）の2丁取りなど様々な木取りの可能性を持っており、これらを製材品として利用できるのかを検証し、大径材の利用を進めることが求められています。

そして、その取り組みにあたり、まず前段階として、大径材の基本的な材質（含水率、密度、強度等）を把握することが必要となります。例えば、含水率の分布は乾燥方法に、強度や密度の分布は強度の高い製材品を採材する木取りの検討に役立ちます。しかし、これまで大径材はあまり利用されておらず、有効利用のための基本的な材質データは不足しています。

そこで、本研究では、令和4年度から「ヒノキ大径材丸太の品質評価」に取り組み、ヒノキ大径材の有効利用のための基本的な

質を明らかにすることを目標に試験を実施しました。今回は、その中でも、曲げ試験、縦圧縮試験結果の概要について報告します。

二 曲げ試験・縦圧縮試験の概要

今回の試験では、岡山県産ヒノキ大径材丸太（長さ4ミリの）を合計53本試験に供しました。

丸太の密度等を測定後、厚さ40ミリの柾目板を元口付近、中央付近、末口付近から、試験材を採材しました。（図1、2）採取した試験材は室内で3〜6ヶ月間含水率が12%程度になるように自然乾燥後、試験材の髓を中心とし

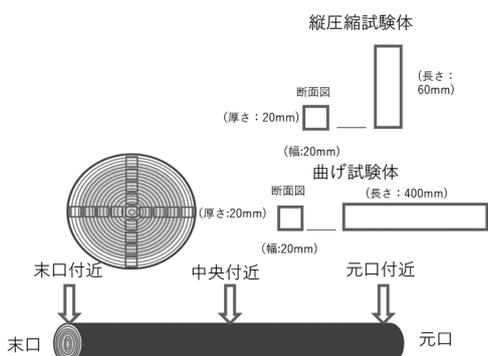


図1 ヒノキ大径材から試験体採取のイメージ

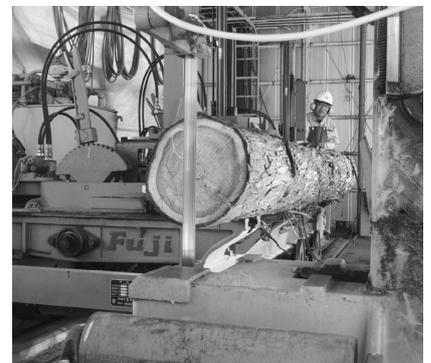


図2 大径材丸太から柾目板の採材の様子

て、曲げ試験体（厚さ20ミリの幅20ミリの長さ400ミリの）と縦圧縮試験体（厚さ20ミリの幅20ミリの長さ60ミリの）をそれぞれ作製しました。各種強度試験はJIS Z 2101（2009）に準拠して、万能材料試験機（インストロン社製）を用いて実施しました。



図3 曲げ試験状況



図4 縦圧縮試験状況

三 試験結果

曲げ試験、縦圧縮試験の結果の平均値を表1、2に示します。高さ方向による大きな違いはみられませんでしたが、今回の試験結果の平均値は曲げ強度81.0 $\frac{\text{N}}{\text{mm}^2}$ 、平方

ミリの、曲げヤング9.7 $\frac{\text{キロトン}}{\text{平方ミリ}}$ 、縦圧縮強度は43.5 $\frac{\text{トン}}{\text{平方ミリ}}$ であり、既存文献値（木材工業ハンドブック、曲げ強度75 $\frac{\text{トン}}{\text{平方ミリ}}$ 、平方ミリの曲げヤング9 $\frac{\text{キロトン}}{\text{平方ミリ}}$ 、縦圧縮強度は40 $\frac{\text{トン}}{\text{平方ミリ}}$ ）と比較すると、高い値を示しました。

表1 曲げ試験結果

試験体数	曲げ試験		
	気乾密度 (g/cm^3)	曲げ強度 (N/mm^2)	曲げヤング (kN/mm^2)
末口付近	0.44	81.5	9.79
中央付近	0.44	81.1	9.74
元口付近	0.44	80.6	9.59
全体	0.44	81.0	9.70

表2 縦圧縮試験結果

試験体数	縦圧縮試験	
	気乾密度 (g/cm^3)	縦圧縮強度 (N/mm^2)
末口付近	0.45	44.1
中央付近	0.44	43.5
元口付近	0.45	42.9
全体	0.45	43.5

四 おわりに

今回の試験では、基本的な材質試験を実施し、ヒノキ大径材の基本的な曲げ・縦圧縮試験での十分な結果が得られました。今後は試験で得られた基礎データを元に大径材の乾燥方法や木取りの検討等につなげていきたいと思えます。

（森林研究所木材加工研究室
技師 古谷 優平）

技能講習会の開催（4月～6月）

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会 場	日 程	申込・問合せ先
伐木（特別教育）	津山	4月16～18日，5月21～23日	林業・木材製造業 労働災害防止協会 岡山県支部 TEL(086)236-7077
	岡山	6月18～20日	
刈払（安全衛生教育）	津山	6月11日	 林災防岡山県支部 HP
※15名以上の受講者がある場合は、「伐木特別教育」又は「刈払機安全衛生教育」の特別開催（出張）を実施することができます。			
小型移動式クレーン運転	岡山	5月22～23日	一般社団法人 岡山県労働基準協会 TEL(086)225-3571
	津山	5月22～23日（サテライト）	
玉掛け	岡山	4月3～4日，5月10～11日 5月15～16日，6月4～5日	
	和気	4月14～15日	
	津山	4月16～17日，5月19～20日 6月16～17日	
	玉野	4月16～17日（サテライト） 6月16～17日（サテライト）	
	新見	5月29～30日	
フォークリフト運転	岡山	4月2日，4月12日，5月14日 6月11日，6月14日	
	和気	5月27日	
	津山	4月4日，5月9日，6月6日	
	玉野	5月9日（サテライト）	
	新見	6月19日	
刈払	岡山	5月9日	
	和気	6月11日	
	津山	4月4日，5月7日，6月5日	
	新見	4月16日，5月28日，6月18日	



中古林業機械 売ります！買います！




HITACHI
 日立建設機械
 油圧ショベル


Logisnext
 三菱ロジスネクスト
 フォークリフト


STIHL
 チェーンソー

各種林業アタッチメント





各種機械のレンタル・修理も承ります！

富士岡山運搬機株式会社



林業機械

本社	岡山県津山市津山口111-1	TEL : 0868-24-3211
新見	岡山県新見市石蟹267-9	TEL : 0867-76-9077
岡山	岡山県岡山市中区江崎84-1	TEL : 086-277-5100
鳥取	鳥取県鳥取市南栄町33-15	TEL : 0857-50-1985



林 産 物 市 況



●木 材 (2月7日) 出荷量 約1,000m³

単位：千円/m³

樹種	長さ	径級	直材	小曲り	樹種	長さ	径級	直材	小曲り
杉	3 m	1 4 ~ 1 6	12	~	檜	3 m	1 4 ~ 1 6	26.5	22
		1 8 ~ 2 0	12	~			1 8 ~ 2 0	23	22
		2 2 ~ 2 8	12	~			2 2 上	21	20.5
	4 m	1 8 ~ 2 2	10	—		4 m	1 6 ~ 1 8	23.5	23.5
		2 4 ~ 2 8	10.5	9.5			2 0 ~ 2 2	24	23.5
	6 m	1 6 ~ 1 8	—	—			6 m	2 4 ~ 2 8	24
						1 6		—	—
						1 8 ~ 2 0	—	—	
概 況									
杉概況					檜概況				
【3m】					【3m】				
柱 材 横這い			中目材 横這い		柱 材 強含み		柱 材 横這い		
中目材 横這い			元 木 横這い		中目材 横這い		中目材 横這い		
					元 木 横這い		元 木 横這い		

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値

●製 材 (2月)

樹 種	寸 法	等級	区分	安 値 ~ 高 値 (円/m ³)	備 考
ス ギ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	~75,000	
	正角 3 m 12cm角	特等	K	~70,000	
ヒノキ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	80,000~	
	正角 3 m 12cm角	特等	K	75,000~	
	正角 4 m 10.5cm角	特等	K	80,000~	
	正角 4 m 12cm角	特等	K	75,000~	
マ ッ	平角 4 m 10.5~12cm ×15~18cm	一 等	K	100,000~	
米マツ	正角 3 m、4 m 10.5cm角	特等	G	76,000~	
	平角 3 m、4 m 10.5cm ×15~21cm	特等	K	95,000~	
北洋アカマツ	タルキ 4 m 3.8cm角	特等	K	120,000~	
ホワイトウッド	間柱 3 m 3 cm×10.5cm	特等	K	85,000~	

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。
注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。



「緑の募金」 ご協力をお願いします

緑の募金で進めようSDGs（持続可能な開発目標）

募金期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行 00230-3-144752
※窓口では手数料がすべて免除となります
 中国銀行岡山駅前支店 普通1852041
 トマト銀行岡山駅前支店 普通1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511



林業機械のご購入・修理・買い替えのご相談は

美津吉商事株式会社

岡山県津山市一方194 / TEL 0868-23-2255

《津山・真庭・倉敷・鳥取・倉吉》

<https://www.mitsuyoshi.com>



イワフジ工業 ハスクバーナ・ゼノア

やまびこジャパン (新ダイワ・共立)

STIHL マキタ PFANNER 他

確かな技術と
製品で
作業の安全性を
サポートします！

お近くのお店へ
お気軽に
ご相談ください。

— 安全・人と自然・調和 —

美林を育てる

〔林地除草剤〕 サイトロンフレノック微粒剤・サイトロン微粒剤・フレノック粒剤・ケイピンエース
 造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕 ランテクター水和剤・コニファー水和剤

〔幼齢樹保護カバー〕 くわんたいⅡ 〔樹皮食い防止〕 バークガード・美樹巻夫

〔樹幹注入剤〕 マッケンジー・マツガード・他 〔野生草食獣侵入防止〕 防獣ネット・他

お問い合わせ申込みは県森連・森林組合へ

販売：日植アグリ株式会社

販売元：大同商事(株)大阪営業所

TEL.086-292-5525

TEL.06-6384-1288

皆伐・再造林促進支援事業のご案内

岡山県森林組合連合会

TEL：086-236-6530



皆伐跡地への

再造林・下刈り経費の一部を助成しています。

◎再造林：最大 12 万円/ha あたり

(ドローン活用の場合、15 万円/ha あたり)

◎下刈り：7 万円/ha あたり・年 (最長 5 年間)

岡山県森連 再造林



詳細は県森連ホームページをご覧ください。

林業資材
ドローン運搬サービス

お問い合わせは県森連まで!!
TEL：0867-44-2691(業務課直通)



**おokayama
森づくり 県民税
の成果**

おokayama森づくり県民税が平成16年に導入されてから20年が経過しました。

今回は、第四期課税期間（R元（5年度）を中心に、これまで実施してきた各種森林保全事業による成果のうち、主なものを紹介します。

【水源の涵養、県土保全などの

森林の持つ公益的機能を

高める森づくり

- ・ 国庫補助事業と連携し間伐を行った結果、緊急に間伐が必要な森林が令和元年度の約23,800 畝から令和5年度には約7,600 畝に減少しました。
- ・ 少花粉スギ・ヒノキ苗木による植替えを実施し、令和3年以降の少花粉苗木の割合は99%以上となっております。

【森林整備を推進するための担い手の育成・確保と木材の利用促進】

・ 林業就業相談会の開催や職場内

研修等の取組の結果、森づくり県民税導入前の平成15年と比べて、令和5年には県内の林業事業体の事業者のうち39歳以下の割合が18%から34%に増加しました。

・ CLTの新たな利用を普及促進したことで、CLTを使用した建築物の施工件数が平成29年度以降の累計102件で、日本一となっております。

【森林・林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進】

・ 県民参加の森づくり活動を支援した結果、自主的な森づくりに取り組むボランティア団体や企業等が平成15年度の31団体から令和5年には141団体となりました。

今回紹介した成果は一部です。林政課ホームページ内で、「おokayama森づくり県民税」事業の実績と成果を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

林政課HPはこちら！



（林政課 普及指導班）

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製 造 森産業株式会社
総 発 売 元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

防腐技術と加工技術で、人と森と未来を繋ぐ

公園修景施設・土木用資材
防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

緑あふれる環境づくり

山都屋株式会社

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
大阪営業所 津山営業所 水島営業所

おokayamaの木で家づくり支援事業

助成金額：最大32万円/戸
助成対象者：
① 県内で認証材を4㎡以上使用して新築する住宅(350戸程)
② " " " 民間非住宅(50戸程)
③ " " 1㎡以上使用して改修する住宅(100戸程)

詳細はこちら ↓
<http://www.kaiteki-kinoie.or.jp/subsidy.html>

一般社団法人 **岡山県木材組合連合会**
〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 (岡山県木材会館内)
TEL (086) 231-6677 FAX (086) 232-7549

林声

令和七年三月一日（第五〇〇号）
（隔月一日発行）



昭和37年6月号 No.100 (表紙)

前身である「林業普及」が県の情報紙として昭和26年1月に発刊されてから74年、「林声」が500号を迎えました。読者の皆様や発行に携わってこられた関係者の皆様には心より感謝申し上げます。昭和・平成・令和の「林声」のあゆみをご紹介します。



「林声」紙面の主なあゆみ

1951	〈第1号〉昭和26年1月号 「林業普及」の名称で県と地方民間との林業連絡機関紙として創刊。
1956	〈第39号〉昭和31年8月号 編集が林産課(当時)から県林業改良普及協会に移り、紙名も「林声(聲)」と改題。
1962	〈第100号〉昭和37年6月号 発刊100号記念「30年後の林業」特集。
1975	〈第200号〉昭和50年3月号 第200号記念写真コンクールの結果発表を掲載。
1991	〈第300号〉平成3年11月号 創刊300号記念号。これまでの森林・林業関連の年表、主なシリーズの一覧等掲載。
2008	〈第400号〉平成20年7月号 表紙はおかやま名木バンク増殖対象木の「マトバのエノキ」(高梁市)。
2011	〈第417号～第422号〉平成23年5月～24年3月号 発刊60年。No.417,418,420,422の4回にわたり「林声」の懐かしの誌面や記事を紹介。
2012	〈第424号〉平成24年7月号 (一社)全国林業改良普及協会主催の第46回林業関係広報コンクール広報誌部門において優秀賞を受賞。
2016	〈第446号〉平成28年3月号 「林声」初の表紙・裏表紙のフルカラー印刷。表紙はおかやま森のフォトコンテスト最優秀賞「みんなでつくる木のベンチ」。
2017	〈第451号〉平成29年1月号 表紙、裏表紙がカラー印刷定番化。
2020	〈第471号〉令和2年5月号 この年から県林業改良普及協会事務局が岡山県森林組合連合会に移る。
2025	〈第500号〉令和7年3月号



「林声」200号記念写真コンクール特賞「しゃぼん樹作業」吉田正見氏

昭和50年3月号 No.200 (表紙写真)



平成20年7月号 No.400 (表紙)

編集
発行

〒701-1202 岡山県森林組合連合会内
岡山市北区櫛津四九一
岡山県林業改良普及協会

これからは様々な情報や現場の声を届け、岡山の森林・林業に携わる皆様と共に歩んで参ります。どうぞよろしくお願いたします。
(岡山県林業改良普及協会事務局)



平成28年3月号 No.446 (表紙)



平成24年7月号 No.424 (掲載記事)



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。